

令和7年 4月 発行

大東市立深野中学校

令和7年度

評価のつけ方

～よりわかりやすく通知表を見ていただくために～

年 組 番

氏名 ()

通知表の見方

昨年度の通知表の内側、評価・評定記入欄より
学習の記録のページは、このようになっています。

学習の記録

教科	内容	1学期		2学期		学年	
		評価	評定	評価	評定	評価	評定
国語	知識・技能	A		A		A	
	思考・判断・表現	A	5	A	5	A	5
	主体的に学習に取り組む態度	A		A		A	
社会	知識・技能	A		A		A	
	思考・判断・表現	A	5	A	5	A	5
	主体的に学習に取り組む態度	A		A		A	
	知識・技能	A		A		A	

各教科の観点別評価
(A・B・C)

各教科の5段階評定
(5・4・3・2・1)

各教科の観点

※令和3年度より全教科で同じ3観点到整理されました。

5・4・3・2・1の「評定」を上げるためには、その左側のA・B・Cの「観点別評価」の意味を知っておくことが大切です。次のページより、評価のつけ方および各教科での評価規準・評価材料例を掲載しています。この冊子を家庭で保管し、お子さまの学習にお役立てください。



評価のつけ方

【1】各教科の評価・評定について（全学年）

（1）各教科の観点別評価

★各教科の各観点をA B Cで評価します。

A →	75%以上（十分満足できると判断されるもの）
B →	40～74%（おおむね満足できると判断されるもの）
C →	39%以下（努力を要すると判断されるもの）

- 評価観点は教科ごとに3年間の基本となることを掲げています。
- 評価規準にしたがって、中学校のテストや府のチャレンジテスト、提出物、発表、実験レポート、実技など生徒の学習の様子と成果を様々な面から評価します。これらの評価材料を点数化し合計し、その到達度をA B Cの3段階で評価しています。
- 生徒の発達や学年に応じて、実際の授業では、さらに高度な目標をめざしたり、単元によって軽重をつけたりします。
- 目標の達成度を評価しています。

（2）各教科の5段階評定

★観点ごとの評価材料を集計し、以下の達成基準表に従って5段階評定をつけます。

5段階 評定	各評定の基準(達成率)	3観点の達成率の合計	ABCの組み合わせ
5	$90\% \leq 「5」 \leq 100\%$	$270 \leq 「5」 \leq 300$	AAA AAB
4	$75\% \leq 「4」 < 90\%$	$225 \leq 「4」 < 270$	AAA AAB AAC ABB
3	$40\% \leq 「3」 < 75\%$	$120 \leq 「3」 < 225$	ABB AAB AAC ABC BBB BBC ACC BCC
2	$20\% \leq 「2」 < 40\%$	$60 \leq 「2」 < 120$	ACC ABC BBC BCC CCC
1	$「1」 < 20\%$	$「1」 < 60$	BCC CCC

- 各教科の学習の状況について、学習指導要領に示す目標に照らして、どの程度達成できたかを表しています。
- 観点ごとに各評価材料の評価情報(素点)を集計し、達成率(%)を算出します。
- 各観点の達成率を合計し、3観点のトータルの達成率を算出します。
- いずれの教科においても観点の重みづけは行いません。
- 全学年において、府のチャレンジテストの結果をふまえてその評価・評定が適切かを検証します。
- 1学期は1学期の、2学期は1学期と2学期の通期の評定、3学期は年間を通した評定を記載します。

(3) 4教科の定期テストについて

5教科(国語・社会・数学・理科・英語)はこれまで通り年間5回の定期テストを実施しますが、実技4教科(音楽・美術・保健体育・技術家庭)に関しては、令和6年度より定期テストを廃止します。

学習指導要領に基づき、本来の目標や教科性に応じた授業づくりを行い、授業での活動や課題に取り組む姿勢などをもとに一層ていねいな見取りを行っていきます。なお、教科や単元により、指導に活かすための理解度確認テストに取り組む場合もあります。詳しくは教科ごとのページを参考にしてください。授業の中 00000 でも、めざしたいゴールや評価の基準をくり返し伝えていきます。

生徒のみなさんは、これまで同様、どの授業・課題にも積極的に取り組むようにしていきましょう。不安な点があれば教科の先生にたずねましょう。

【2】総合的な学習の時間について

各学年で行う総合的な学習の時間について、学習目標を達成できた観点に○印をつけています。

【3】行動の記録について

望ましい生活習慣をつけるための各目標に照らし、学校生活全般にわたり、本人の行動で特によいと思われるものに○印をつけています。

ご家庭でもこの評価を参考にしてくよく話し合ってください。

【4】総合所見について

生徒の優れた点や長所、進歩の状況、また今後伸ばしてほしいことなどを学年末に記入します。

【5】通知表の渡し方について

通知表は、学期ごとに1枚ずつ作成いたします。受けとられた通知表を担当に返却して頂く必要はございません。なお、学年末につきましては年間の成績と修了証とともにお渡ししますので、ご自宅にて保管してください。

国 語

観 点	評 価 規 準
知識・技能	① 漢字を覚え、文章の中で適切に使うことができる。 ② 言葉のきまりを理解し、正しく使うことができる。 ③ 言葉の意味を正しく理解することができる。
思考・判断・表現	〈話すこと・聞くこと〉 ① 相手や場に応じ、適切な声量や言葉遣いができる。 ② 人の話を正確に聞き取れる。 〈書くこと〉 ① 自分の意見をまとめ、正確に表現できる。 ② 構成や表現の仕方を工夫できる。 〈読むこと〉 ① 文章の内容を正しくとらえることができる。 ② 文章の内容に含まれている見方や考え方をとらえることができる。
主体的に取り組む態度	① 準備物が整っている。 ② 主体的に学習に参加しようとしている。 ③ 期限を守って提出物を出せる。 ④ 先生や仲間の話をしっかり聞き、個人思考や振り返りに取り組んでいる。 ⑤ 読書に価値を見出し自ら取り組んでいる。

[評価材料]

- | | | |
|---|---|-------------------------------|
| ☐ 出席状況
☐ 問題集・ワーク等
☐ 定期テスト
☐ 授業での取り組み | ☐ 準備物（教科書、ノート、ファイルなど）
☐ 提出物（ノート、プリント、作品、ファイルなど）
☐ 実力テスト ☐ 漢字等小テスト | ☐ 授業態度 |
|---|---|-------------------------------|

社 会

観 点	評 価 規 準
知識・技能	① 社会的なできごとやことがらを、背景まで含めて正しく理解している。 ② 図やグラフなどの資料を読み取るポイントを理解している。また情報をグラフや表などにまとめることができる。 ③ タブレットの学習ソフトを活用し、継続して取り組むことができる。
思考・判断・表現	① 社会的なできごとやことがらの意味や意義、特色や関連を様々な角度から考え、説明することができる。 ② 社会にみられる課題の解決に向けて判断でき、議論できる。 ③ 新聞やタブレット等の情報の取捨選択することができる。
主体的に取り組む態度	① 先生や仲間の話をしっかり聴き、個人思考やふり返り、家庭学習に取り組んでいる。 ② 学習内容に興味を持って考え、今までに学習したことや他教科の内容と関連させながら学習に取り組もうとしている。 ③ 社会の課題について自分で考え、タブレット等を活用して解決しようとしている。

[評価材料]

- ☐ 定期テスト ☐ 小テスト ☐ 実力テスト ☐ 宿題テスト ☐ 授業内課題
☐ 提出物(宿題・作品含む) ☐ 振り返りシート ☐ タブレット課題
☐ 授業中の活動の様子・態度・受け答え、その自己評価・相互評価

数 学

観 点	評 価 規 準
知識・技能	① 数量や図形などについての基礎的な考え方や法則などを理解している。 ② 物事を数学的にとらえることや、表現・処理したりする技能を身に付けている。
思考・判断・表現	① 数学を活用して事象を論理的に考察する力を身に付けている。 ② 数量や図形などの性質を見つけ、発展的に考察する力を身に付けている。 ③ 数学的な表現を用いて、物事を簡単にわかりやすく正確に表現する力を身に付けている。
主体的に取り組む態度	① 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。 ② 先生や仲間の話をしっかり聴き、個人思考やふり返り、家庭学習に取り組んでいる。

[評価材料]

- | | | | |
|--|------------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|
| ☐ 準備物 | ☐ 提出物の状況と内容 | ☐ 定期テスト | ☐ 実力テスト |
| ☐ 小テスト(なるまでテスト・単元テストなど) | | | |
| ☐ レポート | ☐ 振り返り | | |

理 科

観 点	評 価 規 準
知識・技能	① 自然事象について学習した内容の知識が身についている。 ② 科学的用語を適切に使うことができる。 ③ 観察・実験の技能についての知識が身についている。 ④ 実験器具の使い方を理解し、適切に操作する技能が身についている。
思考・判断・表現	① 発展的な学習に対して科学的に探究し、思考を深めることができる。 ② 課題（レポート、自由研究を含む）に対してグラフや図を使って表現し、発表することができる。 ③ 科学的思考力を用いて問題を解くことができる。
主体的に取り組む態度	① 先生や仲間の話をしっかり聞き、個人思考やふり返りに取り組もうとしている。 ② 実験に積極的に取り組んでいる。 ③ 生活と関連づけて考えようとしている。 ④ 積極的に課題を見つけ、これまでの学習した内容を使い、課題を解決しようとしている。

[評価材料]

☐ 発言・発表内容	☐ ふり返りシート	☐ 観察・実験レポート
☐ 小テスト	☐ 単元テスト	☐ 提出物
☐ 定期テスト	☐ 実力テスト	☐ パフォーマンステスト

音 楽

観 点	評 価 規 準
知識・技能	① 音楽のつくりや曲の背景、歌詞などと曲想の関わりについて理解している。 ② 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けている。 ③ 音のつながり方や重なり方、音素材によって変化する音楽の特徴を理解している。 ④ 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。
思考・判断・表現	音の高低・速さ・リズム・音色・強弱などをとらえ、それらの働きが生み出す雰囲気を感じ取りながら、 ① 曲にふさわしい表現の工夫を考えられている。 ② 工夫して創作表現をしている。 ③ 生活の中での音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ④ 曲によって異なる音楽表現について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
主体的に取り組む態度	① 先生や仲間の話や声・音をしっかり聞き、個人思考やふり返りに取り組んでいる。 ② 歌唱・器楽・創作・鑑賞などの音楽活動を楽しみながら、自分から進んで学習活動に取り組もうとしている。 ③ 歌唱・器楽・創作・鑑賞などの音楽活動を楽しみながら、仲間とともに学習活動に取り組もうとしている。

[評価材料]

- ☐ 実技テスト（歌唱・器楽）
- ☐ 単元テスト
- ☐ 提出物の記載内容（プリント・タブレット課題等）
- ☐ 授業への取り組み（持ち物の準備を含む）

美術

観 点	評 価 規 準
知識・技能	《知識》 ① 内容・テーマにそって、表現や特徴などを全体のイメージとしてとらえている。 ② 自分の考えや思いを見る人に伝わるように構成や効果を理解している。 《技能》 ① 課題に応じて見通しを持ち、制作活動をしている。 ② 材料などを工夫し、表現しようとしている。
思考・判断・表現	《発想・構想》 ① 課題内容をもとに自分の課題を見つめ、表現の構想やアイデアを練っている。 ② 自分の考えを伝えたい内容に表し、工夫している。 ③ ものの形や色を主題にあわせて、表現している。 《鑑賞》 ① 作品の良さを感じ取り、見方や感じ方をさまざまな作品を通して広げている。
主体的に取り組む態度	《表現》 ① 自主的に創作活動に参加し、取り組んでいる。 ② 表現活動では、内容に応じて工夫や発想に感じ取ったことを表現に取り組もうとしている。 《鑑賞》 ① 身近に表現した作品からさまざまな工夫を感じ取る鑑賞活動に取り組もうとしている。 ② 仲間とともに楽しく参加し、表現活動に取り組んでいる。

[評価材料]

- ☐制作課題(作品) ☐準備物(持ち物等) ☐アイデアスケッチ(下書き用プリント類)
☐単元テスト ☐提出物
☐作品に取り組む姿勢 ☐振り返りシート

保健体育

観 点	評 価 規 準
知識・技能	【体育分野】 ① 競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などについて、理解している。 ② 運動の特性に応じた、基本的な技能を身につけている。 【保健分野】 ① 個人生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。
思考・判断・表現	【体育分野】 ① 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせを工夫している。 ② 自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 【保健分野】 ① 健康に関する課題を発見し、その解決をめざして科学的に思考し判断しているとともにそれらを表現している。
主体的に取り組む態度	【体育分野】 ① 競技に積極的に取り組もうとしている。 ② 作戦などの話し合いに参加しようとしている。 ③ 一人ひとりの違いに応じた動きなどを認めようとしている。 ④ 健康や安全に気を配ったりしている。 ⑤ 仲間の学習を援助しようとしている。 【保健分野】 ① 自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。 ② 先生や仲間の話をしっかり聞き、個人思考やふり返りに取り組んでいる。

[評価材料]

- | | | | |
|----------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------|------------------------------|
| ☐ 出席状況 | ☐ 準備物 | ☐ レポート | ☐ 提出物 |
| ☐ 服装・あいさつ | ☐ 技能の向上 | ☐ 授業に対する取り組む姿勢 | |
| ☐ 単元テスト | ☐ 実技テスト | | |

技術・家庭科

観 点	評 価 規 準
知識・技能	①生活に必要な基礎的・実践的な知識及び技術を習得できる。 ②道具の適切な使用方法を理解できる。 ③道具を適切に使用し、製作を正確に・安全に行うことができる。
思考・判断・表現	①社会や身の回りの生活について見直し、課題を見つけることができる。 ②社会や身の回りの生活について見直し、自分なりの考えを表現することができる。 ③身の回りの生活に応じて、製作品に適切な工夫を考えることができる。 ④仲間の意見をしっかりと聴き、自分の意見と比べ、考えを深めることができる。
主体的に取り組む態度	① 授業に取り組む姿勢ができています。 ② 授業中・家庭学習に、意欲的に取り組んでいる。 ③ 授業のふりかえりや授業中に習得したことを基にして、生活をより豊かにしようとしていることができています。 ④ 先生や仲間の話をしっかりと聞き、個人思考やふり返りに取り組んでいる。

[評価材料]

☐ 授業に取り組む姿勢	☐ 実習に取り組む姿勢	☐ 単元テスト・小テスト
☐ 製作品・製作過程	☐ 提出物	☐ ノート・ワーク
☐ ファイル（プリント）	☐ 実習の振り返りシート	☐ forms課題

英 語

観 点	評 価 規 準
知識・技能	① 発音や語句、さまざまな表現、文法などについて理解している。 ② 実際のコミュニケーション（聞く・読む・話す・書く）のなかで、身につけた知識を正しく使っている。
思考・判断・表現	<聞く・読む> ① 英語での身近な話題や社会的な話題について、必要な情報や話の流れ、要点をとらえている。 <話す・書く> ① コミュニケーションをとる目的や場面にあわせて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、論理的に表現したり伝え合ったりしている。
主体的に取り組む態度	① 授業の活動に積極的に参加し、計画的に成果を出そうとしている。 ② 文化に対する理解を深め、相手によって表現方法を変化させながら、自分から外国語を用いてコミュニケーションしようとしている。 ③ 先生や仲間の話をしっかり聴き、個人思考やふり返り、家庭学習に取り組んでいる。

[評価材料]

- | | | |
|---|--|-----------------------------------|
| ☐ 授業への参加度 | ☐ 課題に向かう姿 | ☐ 課題の提出 |
| ☐ ペア・グループ活動 | ☐ 授業中の発言 | ☐ 英文の音読・暗唱 |
| ☐ ふり返りシート | ☐ 小テスト（単語・聞き取り） | |
| ☐ 単元テスト・パフォーマンステスト | ☐ 定期テスト等 | |

深野中学校

「特別の教科 道徳」の評価について

「道徳科」における評価の基本的な考え方

（「道徳教育に係る評価等の在り方に関する専門家会議」より要約）

○他の教科のような「5」「4」「3」…という数値による評価ではなく、道徳科の授業での取り組みを文章で評価します。

○他の生徒と比べる評価ではありません。生徒一人ひとりの「道徳科」の授業内での成長を認めて、励ます評価です。

○「道徳科」の授業の中で、自分と違う意見を理解しようとしているか、物事をいろいろな面でとらえられるように成長しているか、道徳的な価値を自分の生活と照らし合わせて考えられているかを重視します。

○普段の生活態度や行動を評価するのではなく、「道徳科」の学習の取り組みを評価します。

○評価は、1年間を通して見取り、3学期の通知票に記載します。

「道徳科」の評価の方向性

☆「道徳科」の評価は、調査書に記載せず、入学者選抜の合否判定に活用することのないようにします。





大東市立深野中学校